

## 山本商事株式会社から寄付金が寄贈されました



山本直樹代表取締役社長（左）と行田市長

4月3日、山本商事株式会社から「市の防災・減災対策に役立ててほしい」と100万円の寄付をいただきました。

いただいた寄付金は、防災用資機材の整備の充実を図るため、防災・減災事業に活用させていただきます。

▶問い合わせ 危機管理課(内線281・282)

## 春の全国火災予防運動に伴う消防総合訓練を実施しました

3月6日、有料老人ホームベストライフ行田(栄町8-32)で、効率的な消防活動と事業所職員との連携強化を目的として、春の全国火災予防運動に伴う消防総合訓練を実施しました。

当日は、はしご車での救出訓練と放水訓練を実施した他、事業所職員による119番通報、初期消火および屋外への避難誘導を行い、入居者が避難訓練に参加しました。この訓練を通じて、同事業所の火災予防意識の高揚と連携強化を図ることができました。



▶問い合わせ 消防署 ☎550-2123

## 全日本小学生女子ソフトボール大会に参加した市内在住の小学生が大会前に市長を訪問しました



左から 尾石陽菜さん、高橋杏奈さん、菊地璃夢さん、小林陽奈さん、佐藤香十葉さん、行田市長

3月17日、市内在住で女子ソフトボールチーム「深谷ブルーフェニックス」に所属する菊地璃夢さん、高橋杏奈さん、小林陽奈さん、佐藤香十葉さん、尾石陽菜さんが、3月に鹿児島県で開催された第19回春季全日本小学生女子ソフトボール大会に参加するに当たり、大会前に、その報告のため市役所を訪問しました。

行田市長からは「自分の力を信じ、精一杯頑張ってください」と激励の言葉がありました。

▶問い合わせ スポーツ振興課 ☎556-8336

## 金婚夫婦に記念品を贈呈します

市では、敬老事業の一環として、今年結婚50周年を迎える夫婦または結婚から50年を経過した夫婦に、9月5日(土)に開催される令和8年度敬老祝賀式典でお祝いの記念品を贈呈します。記念品の受領には申請が必要となりますので、次のとおり申請してください。

▶受付期間 5月1日(金)～6月30日(火)※期間厳守

▶対象 昭和51年12月31日以前に結婚した夫婦(婚姻年月日は挙式の日または入籍した日どちらでも可)※昨年末までに記念品を受領している方を除く

▶申請方法 次のいずれかの方法により申請してください。

①窓口申請

高齢者福祉課、南河原支所、各公民館にある指定の申請用紙(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入の上、提出してください(郵送可)。なお、代理申請も可能です。

②電子申請

二次元コードを読み取り、必要事項を入力し、申請してください。



電子申請・届出サービス

▶その他 敬老祝賀式典が中止され、または欠席された場合、記念品は後日お届けします。

▶問い合わせ 同課高齢福祉担当(内線225・239)

## 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社と「金融経済教育に係る連携・協力に関する協定」を締結しました



戸田成治広報ESG部長(左)と渡辺教育長

3月17日、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社と「金融経済教育に係る連携・協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、子どもたちの人生を豊かにし、時代の要請に応えることができるスキルと生き抜く力の育成を目指して「金融経済教育」の取り組みを推進していく上で、次世代への金融経済教育を社会貢献活動の主軸とする同社の探究学習を重視したプログラムを市内小学校で展開していくものです。

この協定に基づき、お金の価値やお金に対する価値観についての学習機会を設け、産業、経済などを考えることのできる力を育てていきます。

▶問い合わせ 教育指導課 ☎556-8316

## 交通安全用資材(横断旗・傘)が寄贈されました



ほくさい農業協同組合行田中央支店 加瀬田誠支店長(左)、同組合 大屋寛地域担当理事(右)と渡辺教育長

3月17日、ほくさい農業協同組合行田中央支店長の加瀬田誠さんと同組合地域担当理事の大屋寛さんが教育委員会を訪れ、子どもたちの通学時の交通安全を願い、横断旗400本、安全傘260本が寄贈されました。

このたび寄贈された交通安全用資材は、子どもたちの交通安全などに役立つことが期待され、市内全小学校に分配しました。

▶問い合わせ 教育指導課 ☎556-8316

## 市内金融機関と地域安心ネットワークに関する合同協定式を開催しました



左から ほくさい農業協同組合行田中央支店 加瀬田誠支店長、株式会社武蔵野銀行行田支店 北木裕支店長、行田市長、株式会社足利銀行行田支店 須賀雅幸支店長、株式会社埼玉りそな銀行行田支店 鈴木啓太支店長、株式会社東和銀行行田支店 星野洋介支店長

3月13日、市内金融機関(4行1組合)と地域安心ネットワークに関する合同協定式を開催しました。

この協定は、各金融機関が日頃の業務中に、地域の見守り活動や声掛けなどを行い、何らかの異変に気付いたときに、市や警察などに情報共有することで適切な支援につなげていくものです。

また、合同協定式終了後には「金融・福祉連絡会議」を開催しました。この会議は、埼玉県内初となる慶應義塾大学経済学部附属経済研究所が実施する「金融包摂モデル事業」に本市が参画するキックオフの場として行われたもので、各金融機関(4行1組合)に加え、既に協定を締結している行田郵便局、各地域包括支援センター、行田市社会福祉協議会にも参加いただき、金融と福祉を融合した新たな仕組みづくりを目指した取り組みがスタートしました。

▶問い合わせ 地域共生社会推進課(内線354・285)

## トラック型防犯ブザーが寄贈されました



渡辺教育長に目録を手渡す新井支部長(中央)と赤羽副支部長(左)

3月24日、一般社団法人埼玉県トラック協会行田支部長の新井宏幸さんと、副支部長の赤羽一真さんが教育委員会を訪れ、子どもたちの安全を願い、光るトラック型防犯ブザー399個が寄贈されました。

このたび寄贈された防犯ブザーは、子どもたちの安全で安心した生活に役立つことが期待され、市内全小学校の新入学児童に配布されました。

▶問い合わせ 教育指導課 ☎556-8316